

未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子!

～考え動き 人とつながり 挑戦し続ける子～

学校評価から今年度を振り返る

新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

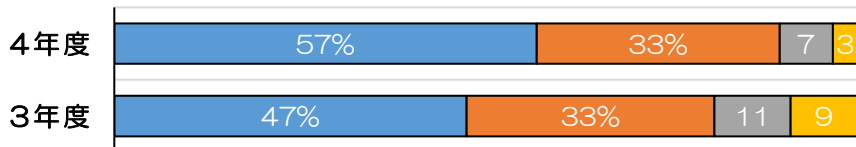
一月十日から三学期がはじまりました。例年より五日間ほど長い冬休みでしたので、子どもたちは、ゆっくりと休みを過ごせたのではないでしょうか。三学期から、スリランカから五年生に転入生があり、始業式には、世界地図でスリランカの位置や気候などを話しました。北小学校も国際色豊かになりました。

ついで、三学期は、来年度の学校の教育活動について、考えていく時期です。そのために、今年度の振り返りを行っています。十二月に、児童と保護者・教職員の三者から今年度の教育活動について、アンケートを行いました。様々な分野に渡って、学校が取り組んでいることやその取組によって子どもたちの生活が良くなってきているのかどうかも尋ねています。そして、その結果をまとめ、それを踏まえて職員で話し合っています。一部ではありますが、結果を報告いたします。

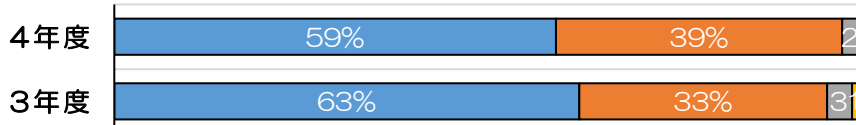
本校の教育目標を実現するためには、何よりも学校が楽しいと思えることが大事です。そのことが、学習に対する意欲や仲間との良い関係、失敗しても挑戦し続ける力へとつながっていきます。今年度の学校評価は、昨年度と比べると学校が楽しいと肯

児童：学校に行くのは楽しいですか

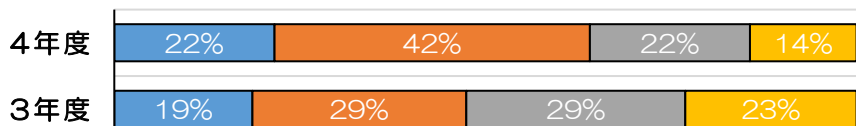
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う
■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



保護者：通わせたい学校となっていますか



自ら進んで宿題の他に何か勉強していますか



令和4年度 学校評価アンケート結果から

学校運営協議会

北小・幸世地域アートフェスタ開催

定的評価をしている子が、+P(ポイント)も高くなっています。保護者については、「通わせたい学校となっている」が九十八%と昨年に引き続き肯定的評価が高く、学校への期待も大きいと感じています。また、本校では、自ら進んで家庭でも学習する力を付けるために様々な取組をしています。一人ひとりの意欲の高まりを感じます。家庭での時間を上手く調整し、目的をもって計画的に過ごすことも必要な力です。良かったところばかりではありませんが、今年度のまとめや分析を行い、来年度、さらに北小学校が子どもたちや保護者にとって、魅力ある学校となることを目指していきます。

地域とともにある学校を目指し、毎年、アートフェスタの開催を計画しているのですが、コロナによる感染拡大防止対策で校内図工書写展に終わっていました。しかし、今年こそは、開催しようと思気込んでいます。

作品についても、地域の方々からたくさん応募や声掛けで快く提供していただき、十八件ほどの作品が集まる予定です。

子どもたちも、図工の時間に楽しんで絵を描き、思い思いの作品が出来上がっています。書写の時間も無言で、集中して鉛筆や筆を走らせていました。良い機会ですので、多くの方々のお越しを心よりお待ちしております。



幸世地域アートフェスタ展 (令和元年度)